

1 日 時	令和6年12月15日(日曜日) 9:00~12:00
2 活動場所	トラスト14号地(町有地)E地区、(県有地) D地区
3 集合場所	役場運動公園グラウンド東(緑地公園前)
4 活動目的	明るく安全な景観林に
5 活動内容	落ち葉掃きに向けた下草刈りや枯枝集め等の林内整備・樹木の伐採
6 作業レベル	中級
7 担当世話役	原
8 道 具	ヘルメット、手袋、マスク、手ノコ、熊手、ブルーシート、救急箱
9 荒天対応	急な雨、又は強風のときは、中断・中止とします
10 トイレ着替	芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

8:30	受付
8:50	世話役・関係者打ち合わせ
9:00	集合
9:05	開会、出欠確認、作業説明ほか ストレッチ
9:15	作業開始(適宜休憩)
11:30	作業終了・用具確認
11:40	終了

作業内容

- ①枯れ枝・折れ枝の処理(E地区 町有地)
・林内の太さ10cm未満の折れ枝や枯れ枝を、1m以内の長さで集め、紐でしばって、運動公園側道路沿いの柵の内側に置いてください。後日環境センターへ搬出します。
・太さ10cm以上の枝は、環境センターでは処理できません。林内に積み置きしてください。
- ②樹木の伐採・ほだ木作り
・D地区(県有地)にある樹木を伐採します。大変危険な作業になるため、十分な安全対策をお願いします。伐採作業中は、対象の樹木に近づかないようにお願いします。
・伐採した樹木は、シタケのほだぎにします。直径10cm程の枝・幹を1mほどに玉切りします。

○冬の自然体験教室を開催します。
町内の小学生を対象に、落ち葉掃き体験やクラフト体験など行う自然体験教室を開催します。後日詳細はご案内します。ご協力いただける方がいましたら、ぜひご参加をお願いします。
令和7年2月15日(土)
9:00~12:00(スタッフ集合8:30)
会場:トラスト14号地 E地区 (町有地)

クリスマスとモミの木の関係

クリスマスが近くなるとモミの木が飾り付けられ、街全体が華やかになります。なぜモミの木を飾り付けるかご存じですか？

そもそもクリスマスとは？

イエス・キリストの生誕を祝う「降誕祭・聖誕祭」。誕生日ではありません。実際にイエス・キリストの生まれた日は定かではありません。この日になった理由には諸説ありますが、12月25日がローマ暦の冬至にあたり、冬至には北欧やヨーロッパの伝統的な儀式「ユール」が行われており、民衆にキリスト教を定着させるためにその日が選ばれたと考えられています。

なぜモミの木を飾るのか？

常緑樹は生命の象徴。中でも三位一体を象徴する三角形のもみの木が普及。冬至に常緑樹の檜(かし)の木を祀って祈りを捧げるユールの習慣が根付いていた人々に、キリスト教を普及させるため、キリスト教の教え「三位一体」を象徴する三角形の常緑樹である樅(もみ)の木を、檜の木の代わりに飾る習慣を広めたためと言われています。

モミの木の特徴

クリスマスから連想する外国のイメージの強いモミの木ですが、日本の固有種でもあり、寺社仏閣をはじめとして、古くから幅広い用途に使用されてきました。クリスマスに飾られるので冬のイメージの強いモミの木ですが、日本の固有種は寒さにそこまで強くありません。北海道での自生はなく、現在確認されているのは秋田県北部。さらに暑さにもさほど強くなく、南限は屋久島です。

次回活動

日 時 令和7年1月19日(日)
午前9時~正午頃まで
場 所 トラスト県有地D地区
内 容 落ち葉掃き
(詳細は後日ご連絡いたします)